

## 活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

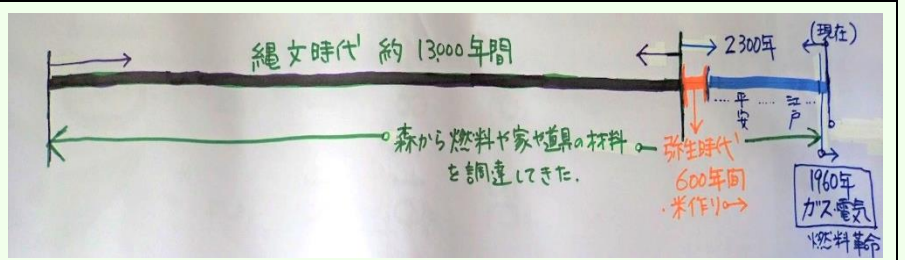
講座名	森林環境教育 縄文の森のエコな暮らし（21世紀の森と広場 夏休自然展）		
開催日時	2022年 7月30日（土） 9時 ～12時		
開催場所	松戸市 21世の森と広場	一般参加者	11人

**活動概要**・・・ 21世紀の森には縄文時代の「竪穴式住居」と、4000年前の森を復元した「縄文の森」があります。親子で、自然の恵みで暮らす縄文の生活を頭と手を使って体験。

縄文の森で森林インストラクター扮する「縄文さん」が手作りの縄文ウエアをまとい、縄文時代の衣食住について語りました。参加者から「その頃子どもは何をしていたの?」という質問も。「縄文さん」と森を観察して食べられるドングリや役に立つ草や木も探しました。「竪穴式住居」は博物館のガイドさんの説明を聞きながらの見学。縄文の暮らしに思いを巡らせ、子ども達からもたくさんの質問がでたようです。博物館からは縄文時代の衣類「編布」のベストもお借りしました。

後半はパークセンターで、縄文時代の遺跡から見つかった「あじろ編みポシェット」と同じ編み方の「あじろ編みコースター」を親子で作成。「縄文さん」から編み方を教わり、全員完成！つるや木の皮、クズなどの繊維から道具を作った事も紹介しました。

縄文時代は1万数千年続き、私達が食べている物は縄文時代からのものも多く、ガスや電気が一般の家庭に入って来る1960年頃までは燃料や家の材料などが森から調達されていた事もお話ししました。



<FIC 講師> 植村敦子 金井康郎 羽根敏子 内藤公雄